

2025

# 経営支援事例集

# 目次

1 令和7年度における金融・経営支援の概要	1 頁
2 創業支援	2 頁
3 金融支援	3～4 頁
4 事業承継支援	5～6 頁
5 専門家派遣による経営課題解決支援	7 頁
6 商談会出展支援事例	8～9 頁
7 集中支援WGによる総合的な経営支援	10 頁
8 協会内中小企業診断士による経営計画策定支援	11 頁
9 経営サポート会議（バンクミーティング）取組事例	12 頁

## 略称について

文中では略称を多く使用していますが、正式名称は以下一覧のとおりです。

略 称	正 式 名 称
新型コロナ	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
活性化センター	あきた企業活性化センター
よろず支援拠点	秋田県よろず支援拠点
プロ人材拠点	秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点
活性化協議会	秋田県中小企業活性化協議会
引継ぎ支援センター	秋田県事業承継・引継ぎ支援センター
CO	コーディネーター（よろず支援拠点や引継ぎ支援センターなど）
WG	ワーキンググループ（事業承継、情報化推進、集中支援）
認定支援機関	中小企業庁が認定する「経営革新等支援機関」
バトンタッチ	秋田県事業承継資金融資特別保証制度
保証協会	秋田県信用保証協会
インスタ	Instagram

\* 各地域の商工会議所、商工会は地域名を省略

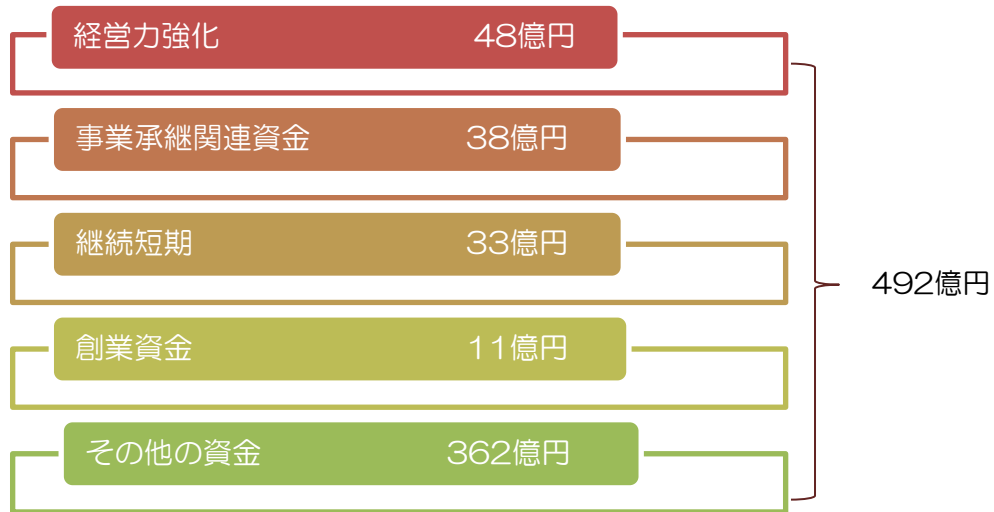
### 【留意事項】

- ✓ 守秘義務の観点から、記載内容は実例から一部変更しています。
- ✓ 掲載している画像は全てイメージです。

## 令和7年度における金融（保証）支援概要

令和7年度保証承諾は492億円（前年比100.1%）と前年を若干上回りましたが、コロナ期間中の金融支援により手元流動性の確保が図られていることや金利上昇に伴う負担感の増加などを要因として、前年に引き続き低水準で推移しました。

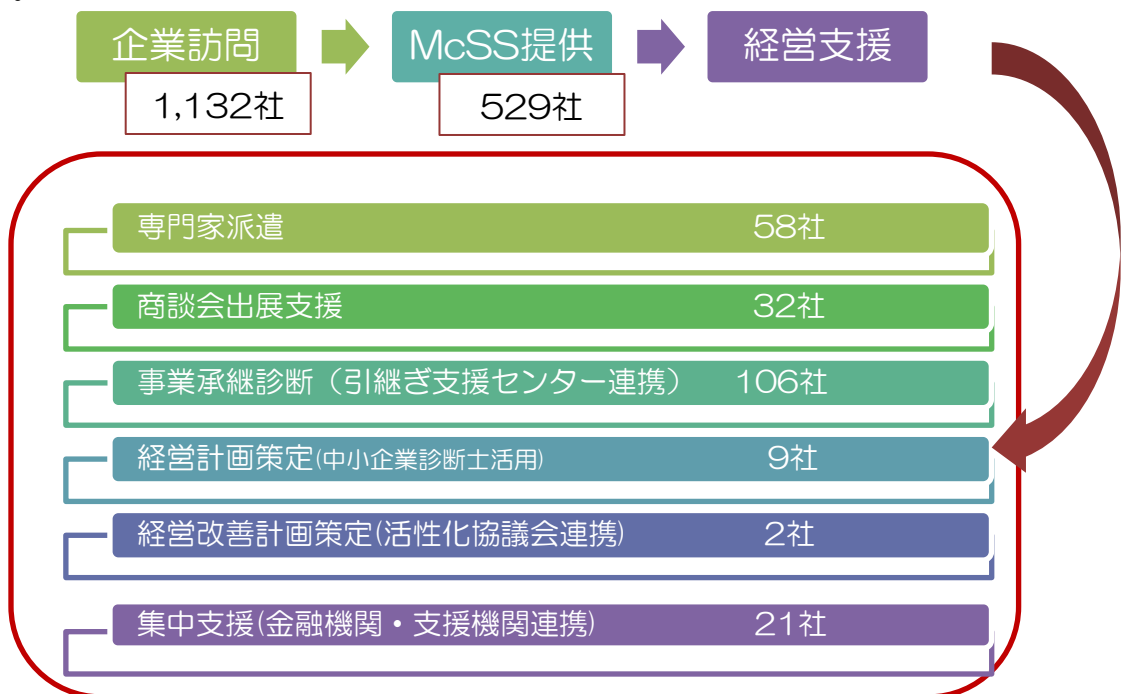
令和7年度の特徴として、コロナ関連資金の借換を主体とした「経営力強化保証」や秋田県事業承継特別保証制度（通称「バトンタッチ」）の利用が伸張しました。



## 経営支援の概要

当協会では、令和7年度も前年度に引き続き企業訪問を経営支援の入り口と捉え、1,132企業に対し1,408回の訪問(含金融機関・支援機関との同行訪問)を実施しました。

そのうち法人のお客様529社（延べ）には、中小企業経営診断システムにより財務分析した総合評価結果診断書/McSSを提供し、経営指標のポイントなどを説明しています。



# 創業支援事例

～フォローアップで顧客ニーズをキャッチ！ 金融・経営支援で創業初期をサポート～

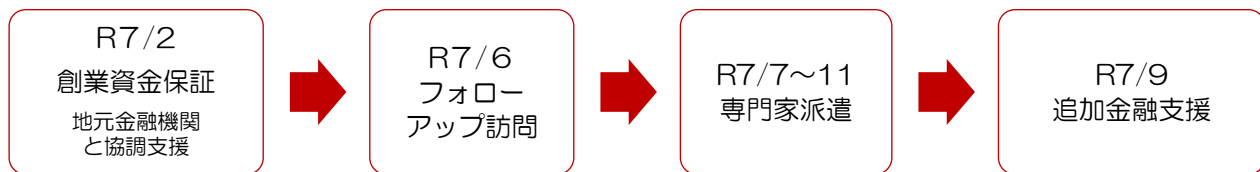
保証協会では、創業者等への支援強化を目的に「創業支援チーム」を設置し、創業予定者または創業者からの金融・経営相談を受付しています。また、創業後においても定期的なモニタリングにより課題の把握と改善策の指導などを実施しています。



## 支援事例 1

■事業内容	フィットネスジム (個人事業)
■創業年	令和7年
■従業員	5人以下
□連携機関	金融機関

## 支援の流れ



## 創業支援のきっかけ

令和7年2月に創業。

創業者自身の経験から、コンディショニングの大切さを多くの人に伝えたいとの思いでフィットネスジムの開業を決意。

フォローアップ訪問を実施した際にSNS等を活用した広報活動に課題を有していることを把握し、専門家派遣を提案。

## 支援内容

専門家派遣においては、集客につながるSNS投稿の方法やジムの特徴の見せ方などについて、LINEやインスタを活用した情報発信やCanvaの使い方などを指導。

並行して、顧客から要望の多かったトレーニングマシンを追加金融支援により導入した。

## 支援後の状況

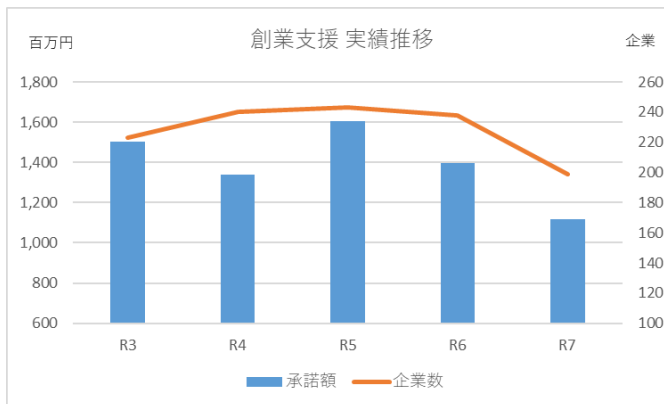
トレーニングマシン追加導入後は学生などの新規顧客が増加したことに加え、SNS発信の方法を改善したことも顧客増加のきっかけとなった。

専門家派遣後は売上が2倍以上となるなど、支援の効果が表れている。

## □創業保証制度利用実績

令和7年度に創業した199社を業種別にみると、サービス業が最も多い53社、次に建設業の38社、飲食業33社、小売業23社となっています。

また、全体で153人の従業員を採用しており、一定の雇用創出効果もありました。

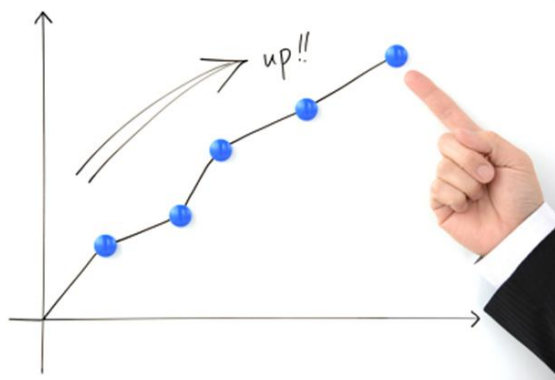


# 経営力強化保証の活用事例

～据置期間終了後のコロナ制度借換による返済負担軽減～

## 経営力強化保証制度

新型コロナウイルス感染症等の影響により積み上がった債務の返済負担の増加に伴う借換需要や原材料価格の高騰等の環境の変化に対して、金融機関をはじめとした認定経営革新等支援機関が、中小企業者の事業計画の策定支援や継続的な経営支援を行い、中小企業の経営力の強化を図ることを目的に創設されました。



経営力強化保証を活用したコロナ制度借換で返済負担軽減！

## 支援事例 2

■事業内容	食品製造業
■資本金	1,000万円以下
■設立	平成年代
■従業員	10人超

## 制度活用のきっかけ

個人事業からの通算では業歴の長い食品製造業者。コロナ禍の際、売上減少のため据置5年のコロナ制度を利用し資金繰りを維持してきた。

令和4年度には、集中支援先として、新商品開発に係る専門家派遣を実施するなど支援を継続してきた。

令和6年度中にモニタリング訪問した際、コロナ制度の据置期間終了（令和7年5月より返済開始）に伴い返済負担が増加することを不安を感じていることを把握。加えて、周年事業を企画しており、再度専門家派遣を受けたいとのニーズも把握。

## 課題の把握と対応

コロナ制度の返済開始後は資金繰りを確認しながら支援方針を検討していたところ、周年事業に向けた新商品開発に伴う原材料仕入れや物価高騰等の影響もあり資金調達の必要性が生じた。

専門家派遣では、周年事業のコンセプトを「当社の当たり前を知ってもらう」と決定し、以下の企画を進めていくこととなった。

<周年事業>

- ・新商品の開発
- ・記念誌の発行
- ・記念ロゴラベルデザインの制作

## 資金導入の効果

資金繰りの安定化及び周年事業実施に向けて、令和7年10月に金融支援を実施。

「秋田県経営力強化保証」を活用し、同制度でコロナ制度を借り換え、返済期間を残り5年から10年に延ばすことで返済負担軽減を図りつつ、必要な運転資金の調達も支援した。

また、同制度のメリットである一区分低い保証料が適用されたことで、保証料負担が軽減された。

この資金調達により、令和7年11月に周年事業を実施し、新商品の販売や記念ロゴの制作、記念誌の発行が実現した。

## 経営力強化保証 活用のメリット！

- ・信用保証料率：1区分低い料率が適用
- ・認定支援機関による事業計画策定等の支援

# 経営改善サポート保証の活用事例

～再生支援時における借換による債務集約～

## 事業再生計画実施関連保証（経営改善・再生支援強化型）制度

### ※略称：経営改善サポート保証

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、借入が過大となり、また、物価高や人手不足等の影響により、厳しい状況に置かれている中小・小規模事業者等については、早期に経営改善や事業再生支援に向けた取り組みを行うことが重要であることから、再生計画の実行段階における資金調達を支援する制度として措置されている「事業再生計画実施関連保証制度」を活用し、据置期間に関する要件緩和や保証料の軽減措置を設けることによって、中小企業者の返済負担等を緩和することを目的に創設されました。



## 支援事例 3

■事業内容	食品製造業
■資本金	1,000万円
■設立	昭和年代
■従業員	5人以下

### 支援のきっかけ

老舗の食品製造業者。コロナ禍による売上減少のため、コロナ制度（据置期間3年）を利用し資金繰りを維持してきた。

しかし、原材料高騰などを背景に業績の低迷が続き、コロナ制度の据置期間終了に伴い、返済負担が増加したため資金繰りが逼迫し、事業継続の危機に瀕した。

活性化協議会やメイン行の支援方針に基づき、事業の方向性について協議を進めていくこととなった。

### 課題の把握と対応

金融機関、活性化協議会等の関係機関による複数回にわたるバンクミーティングを実施。協議の結果、スポンサー型の再生を目指すことで方向性を定めた。

スポンサー企業決定後は、事業の再開など、事業再生へ向けた取り組みを一步ずつ進めていくこととなった。

### 具体的支援

活性化協議会が関与し、「プレ再生計画」を策定。円滑な再生計画遂行の観点から、当該計画にはメイン行による他行保証付債務借換を盛り込んだ。

他行保証付債務借換にあたり、「秋田県事業再生計画実施関連保証（経営改善・再生支援強化型）」を活用。

同制度は早期の事業再生を促すこと目的としており、再生支援を円滑に進めるべく支援を行った。

### 経営サポート改善保証 活用のメリット！

- ・信用保証料率：国の補助があり一律0.4%での対応が可能
- ・保証期間：15年（据置3年）の分割弁済が可能

# 事業承継支援 ～専門機関と連携した事業承継計画策定支援～

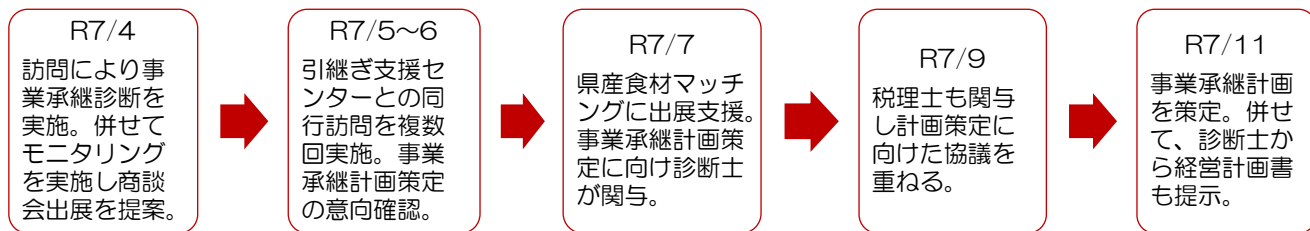
保証協会では、経営者の年齢が60歳以上の企業を訪問した際、事業承継診断シート等を作成し、引継ぎ支援センターと情報を共有しています。事業承継に悩んでいる経営者には同センターのコーディネーターを紹介し、円滑な事業承継手続きを支援しています。



## 支援事例 4

- 事業内容 菓子製造小売業 (個人事業)
- 創業 業歴50年超
- 従業員 10人以下
- 連携機関 引継ぎ支援センター、よろず支援拠点

## 支援の流れ



## 支援のきっかけ

菓子製造小売業者。業歴50年を超え、味には定評がある。  
令和7年4月に事業所訪問を実施。併せて事業承継診断をしたところ、後継者(長男)はいるものの具体の準備が未着手であったため、引継ぎ支援センターを紹介した。

## 課題の把握と対応

引継ぎ支援センターと同行訪問。事業承継の準備が手つかずであること、コロナ禍で落ち込んだ売上回復にも難儀していたことを把握し、以下の課題を抽出。  
① 事業承継計画策定  
② 売上改善  
③ 原価管理や適性価格の設定

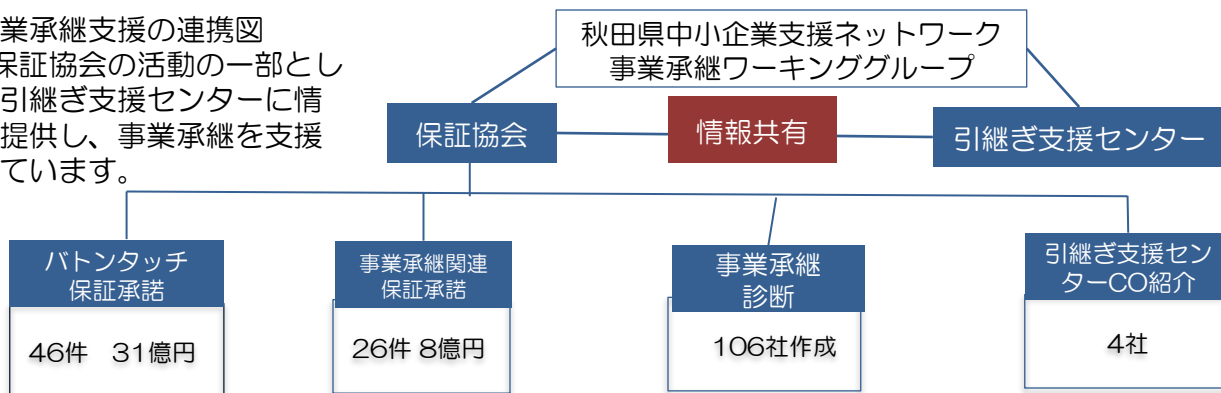
## 具体的支援

引継ぎ支援センターの専門家により策定した事業承継計画を事業者に提示。当該計画策定の過程で原価率や人件費率(シフト見直し等)の改善目標設定も行った。  
これと並行して、協会の支援により売上改善に向けた県産食材マッチングへの出展支援を行うなど、関係機関と連携した多面的な支援を実施。

【令和7年度の活動実績】

### 事業承継支援の連携図

保証協会の活動の一部として引継ぎ支援センターに情報提供し、事業承継を支援しています。



# 事業承継啓発イベント「女性アトツギ座談会」の開催 ～女性の事業承継を後押し！～

秋田県の後継者不在率は72.3%と全国第1位の状況です。

当協会では、女性事業承継者・女性経営者同士の接点創出や事業承継に関する講演及び事業承継経験者の体験談から事業承継・経営のイメージづくりに寄与することなどを目的に、女性アトツギに特化したイベントとして令和6年度から実施しております。

## <イベント概要>

日時：令和7年12月3日（水）13：00～16：00

会場：あきた芸術劇場ミルハス小ホールA

参加者：22名（女性経営者・事業承継者・承継予定者15名、支援機関7名）



○ 講演会（13：10～14：00）

「～私が代表になったワケ～

『戦いの日々から動き出したこと』

講師：穴山 弓恵 氏

有限会社 穴山電機工業所 代表取締役

○ パネルディスカッション（14：10～15：10）

<モデレーター>

松舘 文子 氏 はーとBiz代表（中小企業診断士）

<パネリスト>

穴山 弓恵 氏 有限会社 穴山電機工業所 代表取締役

岸野 綾子 氏 株式会社 東北用地測量社 代表取締役

堀江 重久 氏 株式会社 ホリエ 代表取締役

○ 交流会<名刺交換・グループ討議>（15：20～16：00）

女性の経営者・事業承継者・承継予定者イベント  
令和7年度  
女性アトツギ座談会  
2025年12月3日 水  
13：00 ▶ 16：00（開場12：30）  
会場 あきた芸術劇場ミルハス小ホールA  
（秋田市千秋町2-52）

参加費 無料

講演会（13:10～14:00）  
「～私が代表になったワケ～  
『戦いの日々から動き出したこと』」  
講師：穴山 弓恵 氏  
有限会社 穴山電機工業所 代表取締役

パネルディスカッション（14:10～15:10）  
<モデレーター> 松舘 文子 氏  
<パネリスト> 穴山 弓恵 氏、岸野 綾子 氏、堀江 重久 氏

交流会（15:20～16:00）  
●名刺交換・グループ討議

お申込みはお電話・FAX・ホームページより  
秋田県信用保証協会 経営支援課  
018-863-9015  
https://www.cgc-akita.or.jp  
【主催】秋田県信用保証協会 【共催】秋田県中小企業支援ネットワーク



## <参加者の声>

- ・女性経営者ならではの想いの強さを感じた。共感と勇気をもらえた。
- ・このような交流会は続けてほしい。一生懸命に走り続ける女性経営者同士がつながり、元気を注入して、自社や地域、秋田を活性化させていきたい。

# 専門家派遣による支援事例

～専門家派遣を活用し、商工会と連携して商談会出展を支援～

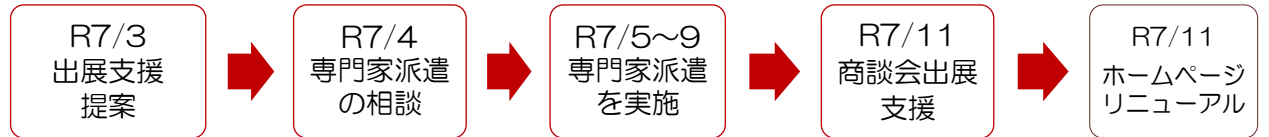
中小企業の維持・発展を図ることを目的として、令和4年度から「専門家派遣事業」を拡充し利便性を高めました。派遣を実施した企業からは「財務内容の改善」「役職員の知識・技術力の向上」「売上や利益の増加」などの効果があったとの報告を受けております。



## 支援事例 5

- 事業内容 製造業 (個人事業)
- 創業 平成年代
- 従業員 5人以下
- 連携機関 商工会

## 支援の流れ



### 支援のきっかけ

約10年前に事業承継した木製工芸品の製造業者。全国商工会連合会主催のコンクールで中小企業庁長官賞受賞など、高い技術力を有する。

保証協会からの提案により、商談会出展が決まったが、出展経験がほとんどなかったため、商工会と連携しブース設営や商談会用パンフレットの制作に関する支援を行うこととなった。

### 課題の把握と対応

商談会用のポスター、動画投影など準備が必要なものを整理し、商工会と支援の役割分担を行った。

保証協会は、デザインに強みを持つ専門家派遣による指導を実施。

商工会は、商談会向けポスター等の印刷にかかる費用負担軽減のため、持続化補助金の申請を支援。

### 具体的支援

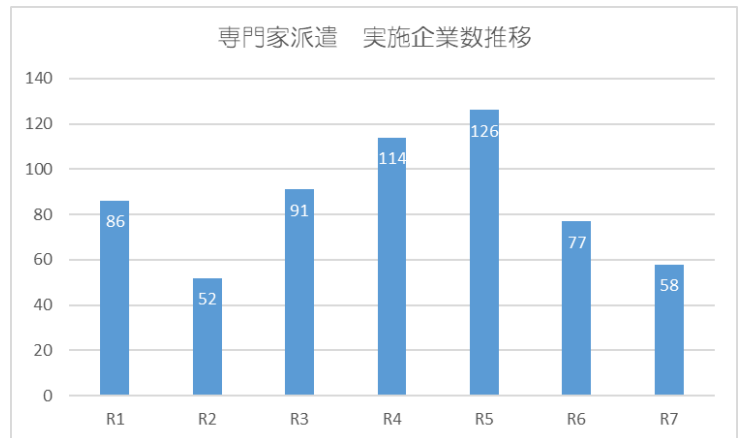
保証協会の専門家派遣により、ポスター等を作成。商談会ではバイヤーから商品に関する多くのコメントを頂き今後の商品展開の参考になった、との感想も寄せられた。

また、商談会に合わせて、専門家指導で作成した新ブランドロゴマークを活用したホームページのリニューアルを実施。

## □ 専門家派遣利用企業

令和7年度は延べ58社に専門家派遣を実施しました。物価高等、激変する環境下、多くの企業からご利用いただきました。

また、令和4年度に専門家派遣を利用した97社に対し、その効果を検証するためアンケート調査を実施しました。そのうち89社から回答があり、「非常に役に立った」「役に立った」との回答が94.4%を占めました。



# 商談会出展支援事例

～ 県内外への販路拡大の後押し！ ～

県内外の広域圏に市場を求める中小企業に対し、商談会・ビジネスフェアへの出展をサポートしております。

また、出展にあたっては、商品デザインの改良、バイヤーとの交渉術等の事前準備に関する支援のほか、会場でのバックアップなどの支援も行っております。令和7年度に支援を実施した商談会は以下のとおりです。

## ビジネスマッチ東北2025

日時：令和7年11月13日（木） 場所：夢メッセみやぎ  
出展支援企業数：7社 来場者数：6,378人

### 〈協会の支援内容〉

出展にあたり、3社に対し商談会に向けた専門家派遣を実施。主にブース設営、訴求ポイントの整理、および商談交渉術について助言を行ったほか、ハイカウンターやテーブルクロス等の装飾費用補助を行った。商談会当日は各担当者によるブース前での声掛けや来客対応を行い、円滑な商談に繋がりました。



### 〈全7社の商談等実績〉

当日は219社と名刺交換、23社と商談を行い、このうち1社と商談成立したほか、18社とは商談継続となりました。

新規取引や業務連携に加え、他の出展者との繋がりができた企業もあり、県外企業への認知度向上、販路拡大に有効な商談会となりました。

## OSAKAビジネスフェア2025

日時：令和7年11月19日（水）  
場所：マイドームおおさか  
出展支援企業数：6社  
来場者数：約2,200人

当協会が出展支援をしている商談会の中で、唯一、西日本への販路拡大がメインの商談会です。

### 〈全6社の商談実績〉

当日は関西の企業を中心とする133社と名刺交換をしました。即、商談成立には結び付かなかったものの、7社とは商談継続中となり、関西方面への足掛かりや今後につながる商談となりました。

## 県産食材マッチング商談会2025

日時：令和7年7月17日（木）  
場所：秋田テルサ  
出展支援企業数：16社

秋田県の実業家と全国のバイヤー企業とのマッチング機会を創出し、県産食品の販路拡大を目的としています。

### 〈全16社の商談実績〉

当日は541社と名刺交換、60社と商談をし、うち8社と商談が成立しました。また、48社とは商談継続となるなど、新規取引や継続的な関係構築につながるケースが見られ、県産食材の付加価値向上と販路拡大に繋がりました。

## その他の商談会・展示会

◆仙台商工会議所が主催する「伊達な商談会」への支援も実施しております。

# 商談会出展支援事業による支援事例

～専門家との連携により、商談会への出展を支援～

当協会では前ページに記載した3つの商談会を主体に、出展支援を実施しています。商談会出展支援にあたっては、各支援機関との連携によるアドバイスのほか、専門家派遣によるアドバイスも行い、より実効性の高い出展となるような支援も実施しております。

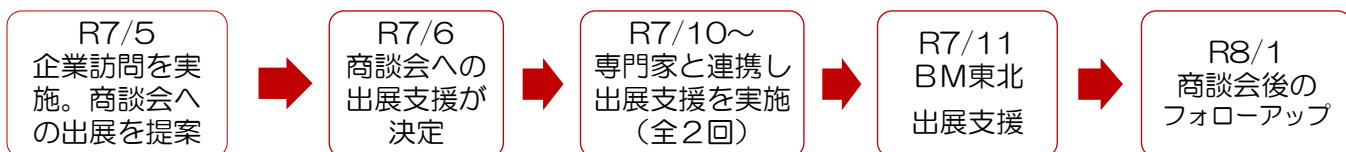


## 商談会出展に向けた専門家派遣の実施

### 支援事例 6

■事業内容	食品小売・製造、飲食店
■資本金	100万円
■設立	平成年代
■従業員	10人以下
■連携機関	商工会

### 支援の流れ



### 支援のきっかけ

飲食店で食品製造業を併営。代表者は県外で修業を積み、飲食店においてはこだわりの地元食材を使用したメニューは人気があり、最近、食品製造業にも進出。企業訪問の際、販路拡大や商品のPR方法に課題を感じていたことを把握し、商談会への出展を提案。

商談会に向け以下の課題を整理し、支援を実施する方針とした。

- ①商品パッケージのデザイン
- ②商談会の事前準備、ブース装飾

### 課題の把握と対応

前記2点の課題解決に向けた専門家派遣を実施。

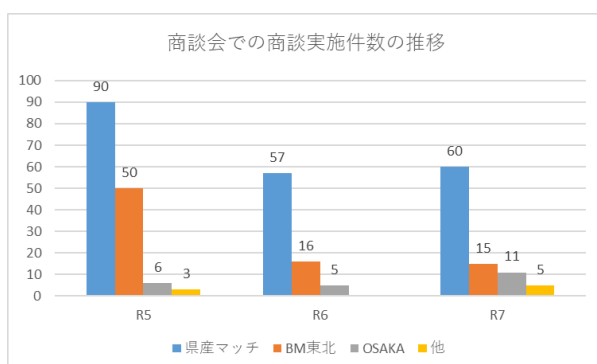
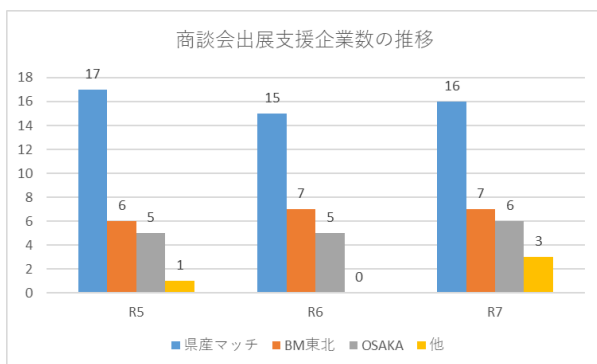
- ①商品パッケージは、店舗の雰囲気や周囲の風景など地域性が伝わるよう進めた。
- ②ブース装飾の工夫や来場者に伝わりやすいPR方法について助言を行ったほか、商談シーンを想定し、面談記録の残し方について指導。

併せて、冷凍庫等の備品レンタル費用の補助を実施。

### 具体的支援

商談会当日は、協会職員がバイヤー等への接客の手伝いや声掛けを行うなどの支援を実施。これまで接点のなかった企業との商談機会も生まれ、代表者から「当社製品の知名度向上の効果があった」との意見をいただいている。

商談会後は商談内容の振り返りを行い、次のアクションを整理。今後の販路拡大に向けた県内外のイベントや商談会の情報提供を行った。



# 集中支援WGによる総合的な支援 ～出展支援、設備資金調達時の連携～

集中支援WGとは、秋田県中小企業支援ネットワーク内で活動する組織です。体質改善、生産性向上、販路拡大など複雑かつ困難な課題に取り組むお客様を金融機関、支援機関及び保証協会が連携し、多方面にわたって個別かつ集中的な支援を実施しています。

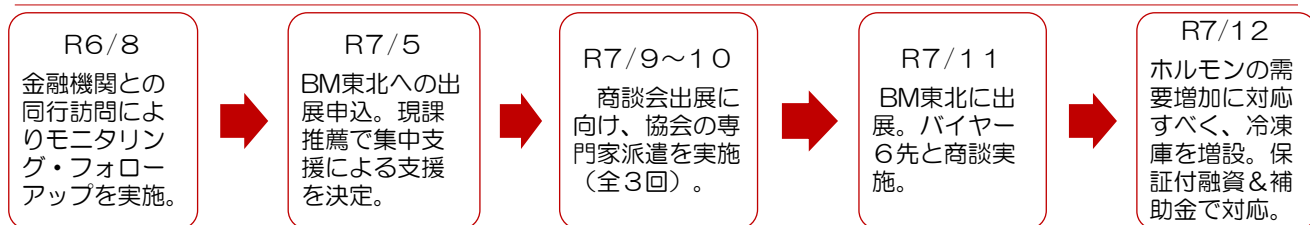
この取組は、金融庁が掲げる「地域金融力強化プラン」の取り組みにもつながるものであり、引き続き関係機関と連携し活動を強化していきます。



## 支援事例 7

- 事業内容 飲食業 (個人事業)
- 創業 平成年代
- 従業員 5人以下
- 連携機関 金融機関、商工会、活性化センター

## 支援の流れ



## 支援のきっかけ

平成年代に創業した飲食店。

令和6年8月にモニタリング訪問した際、販路開拓意欲を確認。商談会出展を提案し、BM東北への出展に至る。出展支援にあたり、集中支援WGの枠組みによる多面的支援を企図。

これ以前に活性化センターの支援でキャラクター考案や商標登録も実施。

## 課題の把握と対応

専門家派遣で、商談会に向けた課題抽出と改善策を提案。

同時期に需要増加による冷凍庫増設の必要性も生じていた。

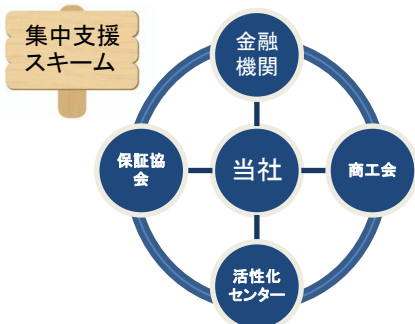
<課題把握と指導(専門家)>

- ・販促ツールが未整備(カタログ、タペストリー等)
- ・展示戦略の明確化を検討し、ブースの設えなど展示ディスプレイの効果的な演出(見せ方)を指導

## 具体的支援

専門家のアドバイスにより当先キャラクターがデザインされたタペストリーを新調。立ち寄りやすさ・商品への関心度を重視したPOP指導など、ブースのブラッシュアップ支援を実施。商談会当日はブースも盛況でバイヤー54先と名刺交換し、うち6先との商談を行った。

このほか、冷凍庫増設にあたり商工会の支援を受け補助金を受給。並行してメイン金融機関による設備資金支援(保証付)を実施。



## 【提供した支援メニュー】

- ✓集中支援(秋田県中小企業支援ネットワーク)
- ✓金融機関による設備資金支援
- ✓商工会による補助金申請支援
- ✓保証協会による専門家派遣支援&商談会出展支援

# 協会内診断士による経営改善計画策定支援事例

～ 黒字転換のため経営改善策定を支援～

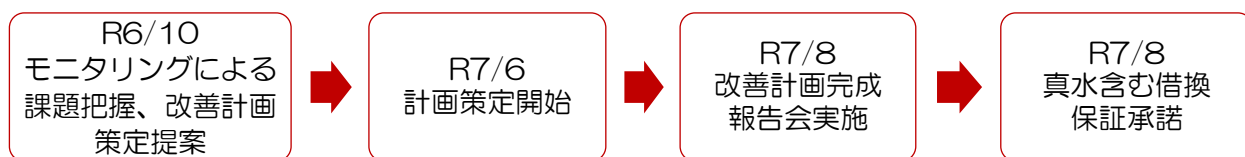
保証協会を利用しているお客様の経営課題の把握や経営改善への取り組みをサポートするため、令和3年度から協会内中小企業診断士が一定期間集中して経営者からお話を伺い、資金繰りや事業精査、経営改善計画策定などを支援しています。



## 支援事例 8

■ 事業内容	建設業
■ 資本金	1,000万円以下
■ 設立	昭和年代
■ 従業員	10人以下

## 支援の流れ



## 支援のきっかけ

昭和30年代創業、その後、法人成りした素材生産サービス業者。

秋田県林業公社や森林組合等との取引を有し、相応の受注を確保していたが、令和に入り、取引先が大規模火災に罹災し納入量が制限され売上減少。以降、大幅な赤字計上が続く、資金繰りは悪化していた。

## 課題の把握と対応

モニタリング・フォローアップを実施した際、経費削減等の自助努力はしているものの、更なる収益改善の必要性があることを認識。経営改善の道筋をつけるため、協会内診断士による経営改善計画策定を提案し、計画策定支援に着手。

令和7年6月～7月にかけて、合計4回にわたり集中的にヒアリングを実施。ヒアリングにはメイン金融機関も同行訪問し、現地調査や分析を行った。

## 具体的支援

経営改善計画にはSWOT分析等を活用し経営課題を設定。課題に基づき、営業、コスト、工程管理、人材育成の観点によるアクションプランを落とし込んだ。

また、計画策定にあたり資金繰りを精査。計画期間中に資金不足が発生することが判明したため、メイン金融機関と連携のもと真水を含めた借換を実施し、資金繰り支援にもつながった。

### □McSS提供サービス

保証協会を利用されているお客様（法人）に、財務分析などの総合評価結果診断書／略称：McSSを提供しています。

令和7年度は、担当職員が年間529社（延べ）のお客様に直接訪問し、診断結果のポイントを説明しています。

### □中小企業診断士（保証協会職員）による経営計画策定支援

保証協会に在籍している中小企業診断士による経営改善計画策定支援を、令和7年度は9社に実施しました。

設備投資の妥当性を探る事業計画や赤字からの脱却を図るための405事業に準じた経営改善計画など、企業のニーズに合わせ策定しています。



# 経営サポート会議取組事例

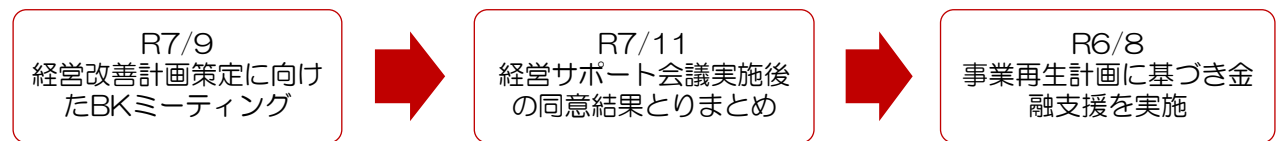
～ 経営サポート会議の開催、同意成立した計画に基づく金融支援を実施～



## 支援事例 9

■ 事業内容	製造業
■ 資本金	1,000万円超
■ 設立	昭和年代
■ 従業員	20人超
■ 連携機関	金融機関、 認定支援機関

## 支援の流れ



### 支援のきっかけ

木材を取扱い50年超の業歴を有する。

近年は原材料価格や人件費の高騰に伴う製造コストの上昇や市場の縮小といった外部環境要因に加え、設備の老朽化や従業員の高齢化による技術の承継の遅れなどの内部要因から、収益確保に苦慮している。

### 課題の把握と対応

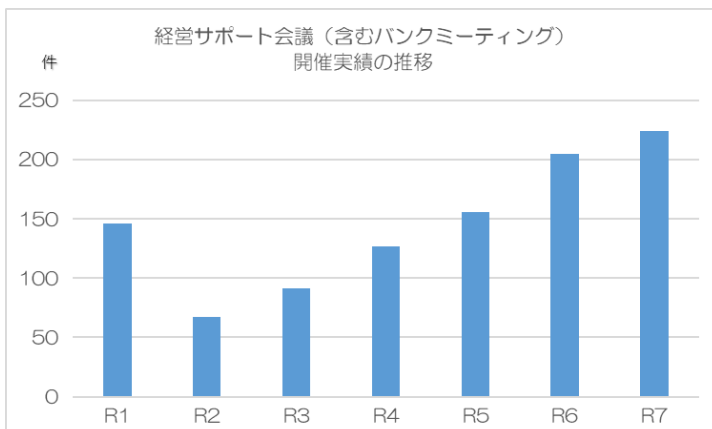
低収益により借入に見合った返済能力を有していない状況から、認定支援機関に計画策定を依頼し、令和7年9月に「事業再生計画」が完成。

当該計画に関する取引金融機関への説明の場として、保証協会が事務局役となり「経営サポート会議」を開催。取引金融機関が一堂に会し経営課題や財務状況についての認識を共有した。

### 具体的支援

保証協会では経営サポート会議の開催に加え、会議開催後において計画の同意状況を取りまとめる役割も担った。令和7年11月に取引金融機関全ての計画同意し計画は成立。

計画に基づく金融支援として「秋田県事業再生実施関連保証（経営改善・再生支援強化型）」を活用した借換を実施し、大幅な返済負担の軽減を実行した。



### <経営サポート会議>

関係する金融機関及び保証協会が一堂に会し、経営改善計画の検証や支援方針のすり合わせなどを行います。